



## 沼倉 瞳 隊員の 地域おこし協力隊通信

### 地域おこし協力隊全国サミット in 神戸に参加してきました！

11月28日から29日にかけて、神戸で開催された地域おこし協力隊全国サミットに参加しました。28日には、全国から350名もの地域おこし協力隊が集まり、各地を代表する隊員からそれぞれの活動事例が報告されました。また、29日には、兵庫県の中東部に位置する篠山（ささやま）市の、協力隊が活動しているふたつの小さな集落を見学してきました。

全国の協力隊の活動事例発表も興味深かったのですが、私の興味を引いたのは、訪れた先の風景でした。同じ様な田舎でも北海道と本州ではまったく風景が違い、瓦屋根、庭先で生っている柿やミカン、見慣れない樹木（その土地の人に伺ったところ、ヒノキでした）、11月も終わるといのに、畑では篠山の特産である黒豆の株を乾燥させているなど、どれも新鮮でした。

ヒノキの名前を伺ったとき、その土地の人の「なにが珍しいのだろう？」という表情が印象的でした。北

海道に当たり前に生えているエゾマツやトドマツなどの針葉樹は、道外から訪れる方には、道内出身の私には想像もつかないくらい珍しい風景なのかもしれません。

同じ道内でも十勝に育った私は、厚田の海、夕日、田んぼの風景に感動しましたが、道外の方の目線だと、また違った風景が見えてくるのかもしれないと感じた研修でした。



### 小豆の収穫

さつまいもの保存処理も終わり、ほっとしたのも束の間、現在はチマチマと、畑で採れた小豆を茎から莢（さや）をはずす、莢から粒を出す、布で磨く、良い豆を選ぶ、という作業をしています。

一連の作業を通して、布で磨いたら驚くほどピカピカになること、虫食い小豆がけっこうあることなど、幼い頃から十勝で見てきた作物なのに知らなかった小豆の姿を、今更ながら知ることができました。

色が悪かったり小さかったりと、商品にはならないけど食べられるものは自家用へ。商品は来年度の厚田こだわり隊直売所で販売する予定です。



### いもだんごぜんざい

小豆の選別作業中、ふと、十勝でよく食べていた「いもだんごぜんざい」を思い出し、作ってみたのでご紹介します。

小豆とじゃがいも、十勝の畑で豊富に採れる作物だからでしょうか、十勝ではぜんざいに餅ではなくいもだんごを入れます。さらに、「いもだんごを食べるためにぜんざいを作る」という、いもだんごは「汁物の脇役」ではなく「主役」のような立ち位置です。茹でて柔らかくなったじゃがいもに片栗粉を混ぜてこねこね。棒状に成型して輪切りにし、茹でて浮いてきたらぜんざいに投入して完成。簡単にできる私の故郷の味です。



ウラ面は小島隊員に続きます！

## 小島 拓也 隊員の 地域おこし協力隊通信



協力隊として  
人前で話す事も  
増えました。

今期の冬は 12 月下旬まで、降る雪が根雪になりませんね。私が行っている福祉除雪のアルバイトも、今期は殆ど出勤していません。雪は積もらなくても、滑りやすい路面は多くある様で、路肩に落ちている車を何台か見かけました。慎重な運転を心がけたいと思います。



12月1日に、あいこぜ図書館まつりが開かれました。開館3周年の今年は、「おかしのお家」を作りました。大人も入れる大きさの段ボールの家や、その壁に貼りつけた本物のお菓子を見て大はしゃぎする子供達と、その笑顔を見る為にこっそり準備してきた大人達が一緒に笑い合っていて、準備を手伝った私も嬉しくなりました。



【力いっぱい杵を振り下ろす事で  
お餅がどんどん美味しくなります】

12月8日に、厚田小学校でもちつき大会が行われました。地域の方から材料の提供があったり、子供たち自身で「きなこ」を作ったり、ニンジンを育てたりして、それらが料理に使われました。厚田小ではこれを「地産地消」ならぬ「児産児消」と呼び、完成したお雑煮を食べながら先生と生産者の方が早くも来年のメニューの相談を楽しそうにするのを見て、とても素晴らしい行事だと感じました。



【大人も子供も  
地域の方、皆が笑顔でした。】

### 【厚田のいずしとタコ】

移動販売の魚屋さんに同行していると、厚田のいずしとタコが、如何に人気があるかが良く分かります。「お正月は、このいずしが無いと始まらない」「タコは厚田のものでないと」等と聞くと、自分が褒められているような嬉しい気持ちになります！



皆様からのご依頼・ご提案をお待ちしております。

携帯電話：080-6069-5304

E-mail(個人)：ishikarishiatsutakukojima@gmail.com

Facebook (フェイスブック)で、  
厚田での暮らしを発信しています！

<https://www.facebook.com/ishikari.chiikiokoshi>

ウラ面は沼倉隊員に続きます！